



医者も知らない「平穏死」



連載⑥

「平穏死」を希望する皆さんへ、元気なうちによつておくべきことをまとめて紹介します。

まず、「看取りの実

績がある在宅医を探す」こと。在宅療養支援診療所の看板を掲げていても、看取りの実績が少ない、あるいはゼロの医療機関が少なくありません。

「訪問診療」だけではなく、求めて応じて「往診」もしてくれる

在宅医を探しておくるのです。相性も大事ですから、風邪などの軽い病気で「直接」をするのも手です。

次に、「家族と元気なうちに死について何度も話し合ってお

く」。もしもの時、何を希望するのか? 胃ろうは? 人工呼吸器は?

平穏死を望んでいても、意識がない状態になつたらそれを主張できません。医師の提案にイエスかノーと言

うのはご家族です。意見が食い違うこともあるでしょう。でも、時間をかけて、

お互いの意見の終着点を見いだしておいてください。

車を呼ぶのか呼ばないのか。

「救急搬送された病院でいつたん命は取り留めなが、管だらけの植物状態になつた」ケー

スは珍しくありません。在宅医がいるなら、救急車ではなく先に在宅医に相談してほしい。救急車を呼ぶと

ヘ長尾和宏 長尾クリニック院長。日本尊厳死協会副理事

死』10の条件など。

【救急車を呼ぶ意味】

を考えることも重いです。看取りの寸前で急変した時、救急

車を呼んでしまい、やケアマネが慌てて救急車を呼んでしまったといふのが、患者さんの願いかなか

いです。これは特に、老親がいる場合です。看取りの寸前をたくさん見てきました。(写真はイメージ)

確実に畠の上で死ぬ方法

車を呼ぶのか呼ばないのか。

「救急搬送された病院でいつたん命は取り留めなが、管だらけの植物状態になつた」ケー

スは珍しくありません。在宅医がいるなら、救急車ではなく先に在宅医に相談してほしい。救急車を呼ぶと

ヘ長尾和宏 長尾クリニック院長。日本尊厳死協会副理事

死』10の条件など。

連載⑥